

[横浜市民ギャラリーあざみ野]
令和7年度業務計画及び収支予算
[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

1 施設の概要

施 設 名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所 在 地	青葉区あざみ野南一丁目 17 番地3
構 造 ・ 規 模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上3階・地下1階
敷 地 ・ 延 床 面 積	敷地面積 4,283 m ² 延床面積 7,899 m ² ／専有面積 1,975 m ²
開 館 日	平成17年10月29日

2 指定管理者

団 体 名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所 在 地	横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル1階
代 表 者	理事長 近藤誠一
設 立 年 月 日	平成3年7月10日
指 定 期 間	令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

人生百年時代。成熟する地域と共に歩み、現代を生きる文化施設」

横浜市民ギャラリーあざみ野は、横浜北部地域に根差し、心豊かに自分らしく生きたい人に寄り添う文化施設です。展示室やアトリエの貸出、展覧会や講座、ワークショップ、アウトリーチ、コレクションの研究・鑑賞等を実施。このような文化芸術体験を介して生まれる地域や人のつながりを大切に、子どもから高齢者まで、障がいの有無、国籍の違い等に関わらず、誰もが安心、安全に過ごせる快適な居場所となることを目指します。

基本方針

- ①「文化芸術を通じて子どもを育む意義を社会に広げる」
- ②「何気なく人が集まる居心地のよい場をつくる」
- ③「触発するカメラ・写真コレクション」
- ④「市民目線の施設運営」
- ⑤「現代社会と文化・芸術を緩やかに結ぶ」
- ⑥「安全な運営、安定の経営」
- ⑦「事業、管理共に自ら変化を生み出す」です。

文化は、人と人の間の絆を育む源泉となるとともに、多くの人々を引き付ける魅力を都市に与えます。また、文化活動により様々な地域課題にアプローチすることで、多様なコミュニティが形成され、横浜が市民にとって住み続けたい街となることにもつながります。横浜市民ギャラリーあざみ野が「地域における文化的公共圏のための社会基盤」の機能を果たすことで、これらを実現します。

(2) 令和7年度の業務の取組方針

ア 全体について

令和7年度は、横浜市民ギャラリーあざみ野の第5期指定管理期間の開始年度であり、当財団の「中期経営計画2022-2025」の最終年度にあたります。指定管理にある「6つの使命」実現のための挑戦をはじめると共に、2030年へ向けて“多様性に満ち、創造性あふれる横浜”を目指す「中期経営計画」の取り組みにおいて、現段階における仕上げを行います。

また、開館20周年を迎える令和7年度を館の発信力向上の絶好機と捉え、館のブランド力向上を目指して、ロゴの作成、パンフレット配布、各主催事業の広報活動強化等に取り組みます

イ【使命1】あらゆる人を受け入れ、文化芸術活動を媒介として地域の力を結びつける。

主にアトリエで実施する自主事業において、子ども、子育て世代を中心に高齢者、障がい者、在住外国人など、あらゆる人を受け入れます。これは子どもを対象とした造形プログラム、高齢者向けの鑑賞プログラムなどで実現します。

また、地域と協働して文化芸術を媒介に人々が交流する場づくりとして、地域共創プログラムを始めます。これは学校や福祉施設などの地域拠点と協働して行います。20年経過した当館について市民と対話する機会を設け、共に当館の未来をつくりあげていくプロジェクトです。

ウ【使命2】収蔵作品の適切な管理・保存、調査、研究を行い、また活用を通じて文化芸術活動への興味を引き出す契機を生み出す。

調査と研究を進展させ、展覧会鑑賞やワークショップなど様々な体験を通じて市民にコレクションや写真・映像文化に触れる機会を提供します。また、データベース整備、英文情報の拡充、パンフレットやパネルの作成、SNS配信などコレクションに関する情報公開、発信を強化し、実地とデジタル空間の双方で横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの認知度を高めます。

エ【使命3】美術を中心とした文化芸術活動を創作、体験、発表する場を提供することで、市民の文化芸術活動を支援し、文化活動人口（文化活動の支援者を含む）の増加に寄与する。

表現の場としても、地域コミュニティを支える場としても、市民が創作、体験、発表できる場を提供し続けます。誰でも利用ができるよう市民目線の施設運営を目指し、利用を増やすためにもWEB申込による手続きの簡略化、利便性を高めるよう努めます。また、広報誌アートあざみ野を発行、イベント情報のSNS配信も行い、利用者の活動の広報支援、当館のファンを増やします。

オ【使命4】美術を中心とした、芸術文化に触れる機会を提供することで、新たな気付きや発見を促し、多様な価値観を受け入れる文化の醸成に貢献するとともに、現代のアート発信拠点となる。

現代社会と文化・芸術の緩やかな結び目となり、多様な価値観のもとに醸成される文化を市民と共に育む一助となるような企画展、小展示、ワークショップ、講座を開催します。企画展は令和7年度より一部を有料化、広報や集客にも力を入れます。また、これまで市民向け講座として実施してきた造形や座学のプログラムを再構成します。ときに企画展やコレクション展とも連動させ、多様な造形や鑑賞プログラムを通じて、教育普及を充実させていきます。

カ【使命5】法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持する。また、効率的な経費の執行や収入増の取組等により、安定的な施設運営を行う。

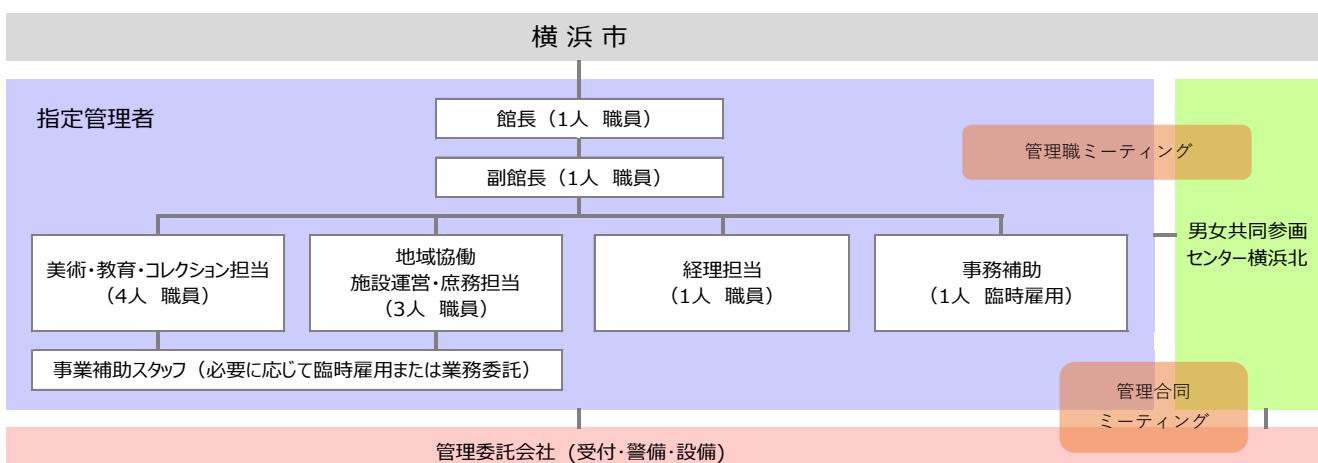
市民の方々に安心安全で快適な場を提供し続けるために、男女共同参画センター横浜北および管理委託会社とのきめ細かな情報交換をもとに、環境維持と積極的な予防的修繕に努めます。また、非常時の防災拠点としての役割を果たすべく、防災訓練をはじめとした様々な方法で防災力を高めるとともに、近隣公共施設との連携を図り、地域全体での防災強化に努めます。

キ【使命6】大きな社会情勢の変化に適応して、施設運営を継続する新型感染症の流行や大きな物価変動など、大きく社会情勢が変化する中でも、安全かつ安定的に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として施設運営に継続する。

新型感染症、物価変動、光熱水費高騰、大地震、気候変動、脱炭素化、労働力確保など文化施設を取り巻く様々な環境に配慮しながら、リスクをあらかじめ予測し、持続可能性を高める経営を行っていきます。

※具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

4 運営組織の構造、人員配置



統括責任者である館長、それを補佐する副館長の下に、横浜市芸術文化振興財団の職員（一部業務委託を含む）が、各業務にあたります。合築施設として男女共同参画センター横浜北と協調、協力しながら施設運営を行い、警備、設備保守等の施設管理は外部会社に委託します。

5 収支

別紙予算書のとおり。

利用料収入以外での収入の獲得と経費削減との両輪で、適切な収支バランス確保に努めます。

※具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

6 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

各種計画書・報告書につきましては、遅滞なく提出いたします。

※具体的な取組内容や指標は、完了確認表に記載します。

7 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

(1) 【使命 1】あらゆる人を受け入れ、文化芸術活動を媒介として地域の力を結びつける。

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績	R 9 実績	R 10 実績	R 11 達成 指標	R 11 実績
1	子どもをターゲットとした事業数	—	3 事業 45 回	—	—	—	3 事業 45 回	—
2	社会的包摂の実現を目指す事業数	—	4 事業 25 回	—	—	—	4 事業 25 回	—
3	地域の施設・団体と連携して実施した事業数	—	3 事業 8 回	—	—	—	3 事業 8 回	—
4 ★	「学校のための造形プログラム」における受入校数	—	5 校	—	—	—	5 校	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績		
		R 7 実績	R 8 達成指標	R 9 実績
★ 1	子どもたちや学校の定性分析	—	個別支援学級、特別支援学校における参加児童・教諭の満足度。プログラムに参加したことによって起こり得る波及的効果を検証。 (学校のための造形プログラム)	—
		—	—	—
		—	—	—
		—	—	—

		R11 達成指標	2年目の調査結果をふまえてプログラム改善を行い、2年目と同様の調査を行うことで改善の有効性をはかる。
		R11 実績	—
2	社会的包摶の実現を目指す事業への参加者へのヒアリング分析	R7 実績	—
		R8 達成指標	高齢者、認知症の方とその家族・介護者の満足度。プログラムに参加したことによって起こり得る波及的効果を検証。(アート+認知症)
		R8 実績	—
		R9 実績	—
		R10 実績	—
		R11 達成指標	2年目の調査結果をふまえてプログラム改善を行い、2年目と同様の調査を行うことで改善の有効性をはかる。
3	連携したことによる地域の定性分析	R11 実績	—
		R7 実績	—
		R8 達成指標	地域住民が文化施設へ持つイメージや期待の多様さを調査。
		R8 実績	—
		R9 実績	—
		R10 実績	—
		R11 達成指標	上記継続の結果、ネットワークが広がり、連携先やプログラムの多様さに繋がっているかを調査。
		R11 実績	—

ウ 【使命1】を達成するために重点的に取り組む事項

①次世代を担う子どもたちを対象としたプログラムを多数実施します。

親子のフリーゾーン（対象：小学生以下の子どもとその保護者）30回

子どものためのプログラム（対象：幼児から小学生）13回

横浜市芸術文化教育プログラム推進事業への参画 3回（事務局と調整）

②社会的包摶におけるプログラムを実施します。

親子で造形ピクニック（対象：障がい児とその保護者、きょうだい、友人）12回

学校のための造形プログラム（対象：個別支援学級、特別支援学校等）6回

フェローアートギャラリー（障がいのあるアーティストによる小展示）3回

やさしい美術鑑賞プログラム（対象：高齢者、認知症の方とその家族・介護者）4回

③地域コミュニティに資するプログラムを実施します。

地域共創プログラム、ロビー活用プログラム（地域の施設、団体と連携して実施）8回

(2) 【使命2】収蔵作品の適切な管理・保存、調査、研究を行い、また活用を通じて文化芸術活動への興味を引き出す契機を生み出す。

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 達成 指標	R11 実績
1	コレクション展への来館者数	—	1,200	—	—	—	1,600	—
2	来場者（参加者）の満足度 (アンケート調査)	—	80%	—	—	—	85%	—
3 ★	SNS フォロワー数	—	500	—	—	—	3000	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	収蔵作品 の状況把 握	R7 実績	—
		R8 達成指標	カテゴリー[写真]資料確認、20%のデータを公開 ※組写真の個別データをのぞく
		R8 実績	—
		R9 実績	—
		R10 実績	—
		R11 達成指標	カテゴリー[写真]資料確認、50%のデータを公開 ※組写真の個別データをのぞく
	R11 実績	—	

ウ 【使命2】を達成するために重点的に取り組む事項

①コレクションの魅力を更に引き出す調査・研究を実施します。

カテゴリー [カメラ] における個別のカメラ研究。

カテゴリー[写真]の調査と基本データの確認を継続。

②収蔵環境を見直しながら適切な保存管理を行い、コレクションを次世代に継承します。

空調管理、喰害虫対策、蔵置方法の見直し、定期清掃、修復を適切に実施。

③多角的な体験を通じてコレクションとカメラ写真文化に親しめるプログラムを行います。

あざみ野フォト・アニュアル（横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展・無料）、ロビー展示、学校アウトリーチの教育普及プログラム、教師のためのアニメーションワークショッピング（横浜市教育委員会共催）を実施。

④情報発信を強化し、コレクションのプレゼンスを高めます。

WEBデータベース公開作業の継続と、Gallery on the WEBの更新。コレクション展にあわせた英文情報の拡充。コレクション用Instagramを立上げ、パンフレットや常設パネルの作成し施設内に開架。

- (3) 【使命3】美術を中心とした文化芸術活動を創作、体験、発表する場を提供することで、市民の文化芸術活動を支援し、文化活動人口（文化活動の支援者を含む）の増加に寄与する。

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績	R9 実績	R10 実績	R11 達成 指標	R11 実績
1	施設利用率－展示室 －アトリエ	－	90%	－	－	－	92%	－
		－	58%	－	－	－	63%	－
2	総来場者数	－	70,000	－	－	－	80,000	－
3 ★	新規団体登録数	－	35～45	－	－	－	35～45	－

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者、 来館者の 状況につ いての現 状把握	R7 実績	－
		R8 達成指標	貸館利用者の満足度、横浜市民ギャラリーあざみ野の存在価値を調査。貸館来館者に横浜市民ギャラリーあざみ野の利用頻度や印象、その存在価値を調査。
		R8 実績	－
		R9 実績	－
		R10 実績	－
		R11 達成指標	2年目と同様の調査を行い、変化を計測。
		R11 実績	－

ウ 【使命3】を達成するために重点的に取り組む事項

- ①WEBシステムによる施設利用の電子申請を一部はじめ、利用者の利便性向上をはかります。
- ②展示室、アトリエ利用者への相談・支援を通じて、継続利用や新規団体獲得を行い、利用率維持、向上を目指します。
- ③近隣文化施設との連携し、横浜全体の文化芸術活動の知名度向上をはかります。
- ④地域団体等と連携してロビーの環境改善をはかり、居心地の良さを向上します。

(4) 【使命4】美術を中心とした、芸術文化に触れる機会を提供することで、新たな気付きや発見を促し、多様な価値観を受け入れる文化の醸成に貢献するとともに、現代のアート発信拠点となる。

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績	R 9 実績	R 10 実績	R 11 達成 指標	R 11 実績
1	自主事業への参加人数	—	4,600	—	—	—	4,600	—
2	来場者（参加者）の満足度（アンケート調査）	—	80%	—	—	—	80%	—
3 ★	展覧会やプログラムがマスメディア、美術専門メディア等で掲載される本数	—	4	—	—	—	4	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	参加者の声（インタビュー調査）	R 7 実績	—
		R 8 達成指標	講座内でテーマに係る満足感をプログラムに組み込んでヒアリング。プログラムに参加したことによって起こり得る波及的効果を検証。
		R 8 実績	—
		R 9 実績	—
		R 10 実績	—
		R 11 達成指標	ヒアリング結果の分析とそれを受けた提案者側の変化、自己評価
	R 11 実績	—	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

①文化芸術の多様さに触れる展覧会と関連企画を実施します。

あざみ野コンテンポラリー（現代アートの多様な表現による企画展）1回

あざみ野フォト・アニュアル（現代の写真映像を紹介する企画展・有料）1回

あざみ野こどもぎゃらりい（子ども・親子を対象とした企画展）1回

ショーケースギャラリー／Showcase Gallery（若手アーティストによる小展示）2回

②市民の文化活動と知的好奇心を刺激するプログラムを実施します。

ラーニング・プログラム(アトリエ講座+教養講座) 17回

③文化芸術活動への興味・関心を広げ、記録を継承するためアーカイブをします。

アーティストインタビュー（展覧会出品作家へのインタビュー編集動画） 4本

展覧会／アーティスト アーカイブ（記録写真・小冊子、アーティスト・データベース）。

- (5) 【使命 5】法令等に則った施設の保守・点検や日常的な予防的修繕などの維持管理を行い、安全で快適な施設を維持する。また、効率的な経費の執行や収入増の取組等により、安定的な施設運営を行う。

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績	R 9 実績	R 10 実績	R 11 達成 指標	R 11 実績
1	施設の管理瑕疵に起因する事故件数	—	0	—	—	—	0	—
2	法定点検等の実施率	—	100%	—	—	—	100%	—
3	修繕予算の執行率		90%				90%	
4 ★	男女共同参画センター横浜北、管理委託会社との定期的なミーティング	—	月 2 回	—	—	—	月 2 回	—
5 ★	専有施設（展示室、アトリエ、収蔵庫など）およびそれらに関わる設備品を適正に管理点検		提案書 100%				提案書 100%	
6 ★	男女共同参画センター横浜北との合同防災訓練		年 2 回				年 2 回	

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績					
1	施設の使いやすさや快適さについてのヒアリング	R 7 実績	—				
		R 8 達成指標	利用者アンケート（展示室回答率 90%）や対話で実施				
		R 8 実績	—				
		R 9 実績	—				
		R 10 実績	—				
		R 11 達成指標	利用者アンケート（展示室回答率 90%）や対話で実施				
		R 11 実績	—				
2	管理運営費推移の要因分析	R 7 実績	—				
		R 8 達成指標	来館者数、利用率、人件費、物価上昇、修繕実施率を踏まえ分析				
		R 8 実績	—				
		R 9 実績	—				
		R 10 実績	—				
		R 11 達成指標	来館者数、利用率、人件費、物価上昇、修繕実施率を踏まえ分析				
		R 11 実績	—				

ウ 使命5を達成するために重点的に取り組む事項

- ①施設共用部は、男女共同参画センター横浜北と協調しながら、管理、維持保全に努めます。
またギャラリー占用部については、経験と専門性を活かして管理、維持保全に努めます。
- ②防災、事故防止、防犯に日頃から努め、緊急時に即応できるよう訓練を定期的に実施します。
- ③経費削減等、効率的運営に努めます。

- (6) 【使命6】大きな社会情勢の変化に適応して、施設運営を継続する新型感染症の流行や大きな物価変動など、大きく社会情勢が変化する中でも、安全かつ安定的に自主事業及び貸館業務を実施し、市民の文化活動の基盤として施設運営に継続する。

使命6を達成するために重点的に取り組む事項

- ・新型感染症流行発生にあつたては、低密度、消毒、マスク着用必須ルールなど過去の対応を参照して感染症拡大予防を実践しながら、できるだけ閉館しないよう取り組みます。また、横浜市と協調、相談して持続可能な施設経営を行います。
- ・事業予算については、展覧会の有料化による収入増、申込方法の改善等による利用率増加をはかり、利用料金増を目指します。
- ・人員の確保は、教育時間をかける、歓迎ムードづくり、正当に評価する、職場内のコミュニケーションを円滑にする、夜間手当の設定など制度面を改善することにより、定着するようはかります。

令和7年度 「横浜市民ギャラリーあざみ野」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	170,149,000		170,149,000		170,149,000	横浜市より
利用料金収入	8,200,000		8,200,000		8,200,000	展示室、アトリエ
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	3,663,000		3,663,000		3,663,000	展示入場料、図録販売、講座収入、目的外利用収入
助成金・協賛金	1,100,000		1,100,000		1,100,000	
雑入	7,310,000	0	7,310,000	0	7,310,000	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	450,000		450,000		450,000	
駐車場利用料収入	3,550,000		3,550,000		3,550,000	
その他（負担金、運営者財源）	3,310,000		3,310,000		3,310,000	センター北と共に事務機器等管理、Wi-Fi等の按分経費、財団自主財源（20周年記念等へ充当）、教育プラットフォーム負担金
収入合計	190,422,000	0	190,422,000	0	190,422,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	81,423,000	0	81,423,000	0	81,423,000	
給与・賃金	69,245,000		69,245,000		69,245,000	
社会保険料	8,130,000		8,130,000		8,130,000	
通勤手当	1,777,000		1,777,000		1,777,000	
健康診断費	31,000		31,000		31,000	
労働者福祉共済掛金	48,000		48,000		48,000	
退職給付引当金繰入額	2,192,000		2,192,000		2,192,000	
事務費	3,290,000	0	3,290,000	0	3,290,000	
旅費	100,000		100,000		100,000	
消耗品費	300,000		300,000		300,000	
会議賄い費			0		0	
印刷製本費			0		0	
通信費	600,000		600,000		600,000	
使用料及び賃借料	1,755,000	0	1,755,000	0	1,755,000	
横浜市への支払分	13,000		13,000		13,000	
その他	1,742,000		1,742,000		1,742,000	PC・プリンター・AED等リース、放送受信料、マット、各種ソフト等
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	85,000		85,000		85,000	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	250,000		250,000		250,000	
リース料	0		0		0	
手数料	200,000		200,000		200,000	
地域協力費			0		0	
事業費	26,882,000	0	26,882,000	0	26,882,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	18,989,000		18,989,000		18,989,000	
自主事業費	7,893,000		7,893,000		7,893,000	
管理費	65,100,000	0	65,100,000	0	65,100,000	
光热水費	18,200,000	0	18,200,000	0	18,200,000	
電気料金	12,500,000		12,500,000		12,500,000	
ガス料金	3,800,000		3,800,000		3,800,000	
水道料金	1,900,000		1,900,000		1,900,000	
清掃費			0		0	
修繕費	2,000,000		2,000,000		2,000,000	専用部修繕費、共用部修繕費
機械警備費	180,000		180,000		180,000	
設備保全費	44,720,000	0	44,720,000	0	44,720,000	共用部はセンター北が契約し費用は折半
空調衛生設備保守	260,000		260,000		260,000	
消防設備保守	550,000		550,000		550,000	
電気設備保守	1,070,000		1,070,000		1,070,000	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	共用部：建物総合管理契約に含む、専有部：事業費に含む
駐車場設備保全費	420,000		420,000		420,000	
その他保全費	42,420,000		42,420,000		42,420,000	清掃費、エレベーター保守管理（専有部）、収蔵庫空調他を含む
共益費			0		0	
公租公課	6,739,000	0	6,739,000	0	6,739,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	6,632,000		6,632,000		6,632,000	
印紙税	50,000		50,000		50,000	
その他（）	57,000		57,000		57,000	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	6,988,000	0	6,988,000	0	6,988,000	
本部分	6,988,000		6,988,000		6,988,000	労務経理事務の負担金、経理等の本部一括導入システム使用料実費
当該施設分			0		0	
ニーズ対応費			0		0	
支出合計	190,422,000	0	190,422,000	0	190,422,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入			0	
自主事業費支出			0	
自主事業取支			0	

管理許可・目的外使用許可収入			0	
管理許可・目的外使用許可支出			0	
管理許可・目的外使用許可取支			0	